



学芸員の廣江泰孝さんが展示作品の見どころを解説したギャラリートーク＝岐阜市宇佐、県美術館

岐阜信金100周年記念秘蔵展

名画の魅力を解説

県美術館

県美術館で開催中の展覧会「創立100周年記念 岐阜信用金庫秘蔵名作選」を紹介するギャラリートークが6日、岐阜市宇佐の同館で開かれた。学芸員の廣江泰孝さんが展示作品の使い方や構図、モチーフに込められた意味などを解説した。

と午後にあった。午後の回で廣江さんは、理想の美を追求めた画家岡田三郎助の代表作「桜の下の裸婦」について「桜の美しさを日本人女性で表した名品中の名品」と紹介。エコール・ド・パリ（パリ派）として活躍した藤田嗣治の「婦人像」については「ブラウスや髪型、化粧など当時の女性の最先端の流行が描かれている」と語った。また、コレクションの特色を「絵を飾る空間のため、

誰かを招くために収集されたことを感じさせる。絵の

前でどんな会話が繰り広げられたのだろうと想像させる」とまとめた。

同展は同金庫、岐阜新聞社、岐阜放送主催。14日まで、入場無料。（田代理加）